

魚津高校 2 学年 倫理 シラバス

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	普通科2年	2	高等学校 改訂版 倫理 (第一学習社)	テオリア最新倫理資料集新版 (第一学習社) 新倫理ノート (啓隆社)
科目の概要と目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
青年期の課題と自己形成	①よく生きることを求めて ②青年期の課題	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生きている青年期はどのような位置にあり、どのような発達課題があるのかを考える。 青年期の心身の特徴を把握するとともに、青年期の悩みの心理的特徴に気づき、悩むことが自己形成につながることを理解する。 		
	①ギリシアの思想	<ul style="list-style-type: none"> 人間の特質とは何かを理解する。 宗教や芸術、哲学の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを学ぶ。 ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどのようなものであるか、そしてアリストテレスを比較しながら考察する。 		
人間としての自覚	③キリスト教	<ul style="list-style-type: none"> イエスの思想をユダヤ教と対比させて、神の愛・律法の内面化という視点を中心に理解する。 キリスト教が愛の宗教であるといわれるのはなぜかを、聖書の文言を味わいながら、イエスの説く教えとはどのようなものかを学ぶ。 		
	④イスラーム	<ul style="list-style-type: none"> イスラームはどのようにして誕生したか、ムハンマドの教えにはどのような特徴があるのか、ユダヤ教やキリスト教とはどのように関係するかを理解する。 聖地メッカを調べるなどして、イスラームの基本的教義(六信・五行)を実感する。 『クルアーン』を読み、日常生活で行うことまで規定していることを理解する。 		
	⑤仏教	<ul style="list-style-type: none"> インドの人々はどのような死生観を持っているかを理解する。 ゴータマの教え＝「ゴータマのことば」を味わい、仏教の基本である、人間どうしが支えあいながら生きていくという視点を読み取る。 ゴータマが説いた縁起や四諦とは何かを理解する。 		
	⑥中国の思想	<ul style="list-style-type: none"> 中国の人々の自然観・人生観を理解する。 『論語』のなかの孔子のことばから、中国の思想の根本を読み取る。 西洋と東洋の源流にある思想を比較して、人間の生き方について説いている内容の共通点と相違点を調べ、発表や討論をする。 		
国際社会に生きる日本人としての自覚	①日本の風土と伝統	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の精神的特性が、日本の風土とどのように関連しているのかを考える。 書籍や史料から日本の神話や伝承について古代の日本人がどのような倫理意識を持っていたのかを理解する。 		
	②外来思想の受容	<ul style="list-style-type: none"> 日本の思想や文化に大きな影響を与えている仏教や儒教が日本にどのように伝えられ、どのように変容していったのか、その大きな流れを把握する。 親鸞、栄西、道元、日蓮に関する資料を収集し、鎌倉仏教の各宗派の教義や特色を理解する。 国学の思想と私たちの考え方とで、共通するところ、異なるところ、共感するところなどを把握する。 		

国際社会に生きる日本人としての自覚	③町人意識のめざめと庶民思想	<ul style="list-style-type: none"> ・義理と人情， 儉約と正直， 勤労の倫理など， 現代に流れる思想に対する興味 ・関心を高め， 日本人の庶民思想や勤労倫理の特質はどこにあるのかに気づく。 ・幕末の思想の特質や， 文明開化が日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたかを把握する。
	④西洋思想との出会い	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人のものの方・考え方のなかで， 西洋思想の受容によって形成されたと考えられるものについて資料を収集し， 国際社会に生きる日本人としての生き方・考え方をまとめる。 ・日本思想のまとめとして， 国際社会に生きる日本人として， これからの自分の生き方やあり方について考える意欲を高め， 今後の生き方について考える。
現代に生きる人間の倫理	①人間の尊厳	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と自由にかかわる思想家の思索を通して， 西洋の近代人は， 人間の尊厳をどこに見出していたのかを考える。 ・西洋近代の思想家たちは， 自由の実現についてどのように考えたのか， 多角的・多面的に考察する。 ・ルネサンスの時代に生まれた新しい人間観や， カント， ヘーゲルらの思索の内容を， 整理して理解する。
	②近代の科学革命と自然観	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーコン， デカルトによる科学的な考え方の特色を理解し， 科学技術の発達と自然との共生についての興味・関心を高める。 ・ベーコンやデカルトの著作を読み， 自然は人間の手によって操作できるとする新しい自然観をつかむ。 ・経験論と合理論の考え方の特色はどこにあるのか， 自己の課題とつなげて理解する。
	③自由で平等な社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・近代ヨーロッパの社会契約論を通して， 民主社会の成立を理解し， 民主社会を実現した社会契約の思想について， 多面的・多角的に考察する。 ・ホブズ， ロック， ルソーに関する資料を収集し， 社会契約の思想の違いを整理する。 ・現在の政治的自由は， ヨーロッパ近代の市民革命を基礎づけた思想家たちの考えに基づくことを理解する。 ・カントとヘーゲルは， 自由之実現をそれぞれどのように考えていたのかを理解する。 ・ベンサムとミルの幸福に対する考え方の違いを理解する。
	④人間性の回復と主体性の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・社会主義の生まれた背景とその発展過程， 現代の社会主義について考察する。 ・主体的なあり方は， 努力をとまなう生き方であることを， 実存主義の思想から考察する。 ・プラグマティズムとは， どのような思想であるか理解する。
	⑤現代の思想と人間像	<ul style="list-style-type: none"> ・現代思想の特徴は， どのようなところにあるのだろうかを考察する。 ・現代思想が発見したり注目したりしたものは， 何かを理解する。そしてそこから何を学ぶことが出来るかを考える。
	⑥生命への畏敬と社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・実践された倫理をつらぬいた人々の生き方に対する興味・関心を高め， 生命への畏敬や本当の愛とはどのようなものかを理解する。 ・さまざまな思想家の主張をふり返りながら， 私たちの生き方はどのようなものであればよいのか， 多面的・多角的に考察する。